

令和 4 年 6 月 19 日現在

機関番号：34602

研究種目：基盤研究(B)（海外学術調査）

研究期間：2017～2020

課題番号：17H04515

研究課題名（和文）21世紀のウォーター・フロンティア：ベトナム南部メコンデルタの多民族社会

研究課題名（英文）Water Frontier in the Twenty-First Century: Multi-cultural Society in Mekong Delta Region in the Southern Part of Vietnam

研究代表者

芹澤 知広 (Serizawa, Satohiro)

天理大学・国際学部・教授

研究者番号：60299162

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 9,300,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、ベトナム南部のチャヴィン省、ソクチャン省、バクリエウ省、キエンザン省などで実地調査を行った。とくに2018年と2019年に、チャヴィン省チャウタイン県の49の家屋（世帯）を訪問し、そのデータと分析・考察を報告書にまとめた。この地域では、キン人、クメール人、華人にかかわらず、末子が親の家屋を相続し、その親の死後は祭壇にその写真を置いて祖先祭祀を行うことがわかった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

20世紀から21世紀にかけてのメコンデルタの多民族社会についての実地調査研究の蓄積が未だ乏しいため、その現状を実地調査から明らかにしたことは意義がある。一般に想定される各民族の文化的差異や社会・経済的分業の存在とは異なる、当該地域のクメール人、キン人、華人に共通する文化的な慣行を発見したことで、今後の世界各地の多民族社会のありかたを比較して考えるうえでの基礎的な情報を提供することが可能となった。

研究成果の概要（英文）： We conducted our fieldwork in Tra Vinh province, Soc Trang province, Bac Lieu province and Kien Giang province in the southern part of Vietnam. Especially in 2018 and 2019, we visited to 49 houses (households) in Chau Thanh district in Tra Vinh province. Through the observation and interview, we discovered the peculiar custom of inheritance of house to this area: the youngest child inherits his/ her parents' house and displays the photos of the deceased parents and ancestors for worship in the house. The data are compiled in the report printed in February 2022.

研究分野：文化人類学

キーワード：ベトナム メコンデルタ 多民族社会

### 1. 研究開始当初の背景

メコンデルタ地域は、19世紀から20世紀にかけての時代、とくにフランスによる植民地化以降、中国、東南アジアへ輸出される米穀の主要な生産地域になり、日本の敗戦後のインドシナ戦争、続く内戦であるベトナム戦争では主要な戦場にもなった。その間、ベトナム共和国の首都のサイゴン(現ホーチミン市)とカンボジアの首都のプノンペンとのあいだにあって、キン人(ベトナムの主要民族)、クメール人(カンボジアの主要民族)、華人(プノンペンやサイゴン(現ホーチミン市)の商業を中心的に担った民族)にとって、それぞれ重要な場所となっていた。

しかしながらメコンデルタ地域についての研究は、フランス人のピエール・プロシュ(『メコンデルタ: 1860年から1960年にかけての生態・経済・革命(The Mekong Delta: Ecology, Economy, and Revolution, 1860-1960)』2009年)や、日本人の高田洋子(『メコンデルタの大土地所有 無主の土地から多民族社会へ フランス植民地主義の80年』2014年)の歴史学的研究はあるが、その現在については、オーストラリアの人類学者、フィリップ・テイラーの『ベトナムがもつクメール人の土地: 環境・世界観・主権(The Khmer Lands of Vietnam: Environment, Cosmology, and Sovereignty)』2014年)を除き、まだまとまった研究が出ていなかった。(ただしその後、2021年には本研究のメンバーである下條尚志の『国家の「余白」メコンデルタ 生き残りの社会史』が公刊された。)

### 2. 研究の目的

オーストラリアの東南アジア史家、ノラ・クックとタナ・リーが編集した論文集『ウォーター・フロンティア: 1750年から1880年にかけてのメコン川下流域の商業と華人(Water Frontier: Commerce and the Chinese in the Lower Mekong Region)』(2004年)は、ベトナム南部のメコンデルタ地域という辺境地帯が、水運という当時の重要なインフラストラクチャーの恩恵を受けて多くの民族を引き寄せ、多民族社会を形成し、ベトナム、カンボジア、さらには中国、東南アジアの各地につながることで商業の隆盛をもたらしたことを紹介した重要な著作である。

またアメリカの政治学者・東南アジア史家、ジェームズ・C.スコットは、第二次世界大戦以前の東南アジア大陸部の山地には、国家の力が及ばない無国家空間「ゾミア」が存在し、そこへ平地から徴税、労役、徴兵を忌避する人々が移住し、多様な民族から構成される山地民社会が形成されていったという仮説を唱える(『The Art of Not Being Governed (統治されない技)(邦訳タイトル『ゾミア』)』2009年)。しかし無国家空間は山地だけではなかったのではないか。20世紀まで国家の周縁であったメコンデルタは、新たな東南アジアのフロンティア論を生成するための重要な調査地と考えられる。

しかしながら20世紀から21世紀にかけてのメコンデルタの多民族社会についての現地調査研究の蓄積は未だ乏しいため、その現状を現地調査から明らかにすることが本研究の第一の目的となった。また研究期間が限られていることから、調査地の全体像を把握するために交易と宗教に焦点をあて、その両者の中心にもなる水上交通の要衝としての市場町を回ることから実態を把握しようとした。交易と宗教の担い手である当地の人々の実践を観察し、人々の認識を理解することから、多民族状況下での葛藤・妥協・協同の詳細な事例を集めることを試みた。そして一般に想定されている3民族の分業をこえるような事実の発見を目指した。

### 3. 研究の方法

本研究に先立って、本研究のメンバーは2012年にベトナム南部のチャヴィン(Trà Vinh)省にあるチャヴィン大学と、研究上の交流を行う個人的な協定を結び、2012年から2015年にかけて、チャヴィン省内で華人の宗教施設の共同調査を行い、その成果をベトナムと日本で発表していた。

そのため本研究では、その共同調査研究を発展させるために、研究組織を代表して芹澤知広が2017年にチャヴィン大学と研究上の交流を行う協定を結んだ。そして2018年から、その協定にしたがってチャヴィン大学がチャヴィン省内での現地調査の手配を行うことになった。

チャヴィン大学に調査の手配を依頼するうえでは、チャヴィン省のチャウタイン(Châu Thành)県に調査地を絞ることにした。その理由としては、すでに2012年と2013年にチャウタイン県の華人の宗教施設について現地調査を行い、芹澤が論文を書いているということがあった。またチャウタイン県はチャヴィン市に隣接し、市内にあるチャヴィン大学の宿舎に泊まりながら、通いで調査を行うには便利な場所であった。さらには前世紀に高田洋子教授が調査をし、その成果が公刊されているため、その情報を参照できるということもあった。

2018年3月には、パイロット・ケースとして、チャウタイン県A社の1つの家屋(家庭)を訪問した。2018年8月と9月には、A社の家屋と宗教施設を訪問する共同調査を行った。2019年3月には、チャウタイン県B社の家屋と宗教施設を訪問する共同調査を行った。

2019年の夏はチャヴィン省での現地調査を行わず、メコンデルタの人々の移動と交流を現地に見聞するために、チャヴィン省に隣接するソクチャン(Sóc Trăng)省、さらに西のバクリエウ(Bạc Liêu)省、カンボジアに隣接するキエンザン(Kiên Giang)省を訪問した。そしてベト

ナムの国境をこえて、海岸線に沿ってカンボジアからタイまで陸路を移動しながら実地調査を行った。

本研究の研究期間は本来、2020年度までの4年間であったが、新型コロナウイルス感染症の流行のために最終年度を1年延長し、翌2021年の実地調査の可能性を探った。しかし状況がすぐに好転する見込みがないため、2021年の夏に実地調査を断念し、チャヴィン省で集めたデータを報告書にまとめることにした。2022年2月に報告書を印刷し、3月に関係する研究者へ配布した。

#### 4. 研究成果

最終年度に補足の実地調査をすることができなかつたために、データの不足があることは否めない。しかし今までにチャヴィン省チャウタイン県で集めたデータを報告書にまとめることを通じて、そのデータとアイデアを各メンバーが共有し、メンバー各自の関心から当該地域社会の多民族状況へとアプローチし、メコンデルタの多民族社会についての理解を深めることができた。また同時に個々のテーマに関する今後の課題も明らかとなった。

以下では、その例のひとつとして、「家屋の継承と祖先祭祀」というテーマに関する発見と今後の課題を報告する。

本研究のメンバーがチャヴィン省チャウタイン県で訪問した49世帯(家屋)は、A社に13世帯、B社に36世帯がある。A社の訪問世帯では、1組の華人夫婦の世帯を除き、12世帯がクメール人の世帯である。B社の訪問世帯には、8組のキン人夫婦の世帯が含まれている。

この地域では、A社/B社、母系/父系、女性/男性にかかわらず、「末子相続」という原則によって実際の生活が行われている。この末子相続のルールについて、あるクメール人の夫婦は、「この地域の考え方では、末子が両親の財産を継承する」と明言した。また、あるキン人の村長の説明では、この慣行はクメール人に限らず、この地域のキン人によっても行われている。

さらにこの地域においては、家屋(屋敷地)の継承とその家屋の祭壇での祖先祭祀とのあいだに明らかな関係がある。末子が親の家屋を相続し、そこで年老いた親の世話をし、親が死んでからは祭壇にその写真を置き、毎年の命日には追善供養の儀礼を行う。理念的には、このようなパターンになる。このパターンは、クメール人の世帯だけではなく、キン人や華人の世帯にも見ることができる。

観察と聞き取りから通時的な変化を推測すると、クメール人の祖先の遺骨が骨壺に入れられて家庭の祭壇に置かれたり、個人の名前が書かれた骨壺の状態での共同のチェディーに納められたりする現象が近年新しく生じている。またキン人の遺体の処理も、土葬から火葬へと変わりつつあり、家族墓をつくって埋葬することが増えている。この祖先の個人化や遺骨継承の個別化の流れが、クメール人、キン人、華人のあいだの差異を溶解させていっているとも考えられる。

しかし、2018年と2019年にチャヴィン省チャウタイン県で行った実地調査においては、祭壇の観察・写真撮影や、それについての聞き取りを行ったが、特定の個人が祖先になり、祖先であり続けることを可能とする葬送儀礼や追善供養を、実際に観察する機会には恵まれなかった。そのため、個々の世帯(家屋)に焦点をあてた詳しい事例の収集は、今後の課題となる。

また研究期間のあいだには、チャヴィン省のチャヴィン市や隣接するソクチャン省など、メコンデルタの他の場所でも宗教施設や商業施設を訪問し、観察や聞き取りを行った。それらの場所で集めたデータを含めて比較をし、さらなる分析・考察を進めることも今後の課題となる。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計14件（うち査読付論文 10件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 芹澤知広（商情訳）	4. 巻 14
2. 論文標題 供品、饋贈与祭奠：越南潮州系華人社会的孟蘭盆節	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 節日研究（中国、山東大学出版社）	6. 最初と最後の頁 135-152
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 芹澤知広	4. 巻 150
2. 論文標題 ヌン族の華人の宗教施設に見るベトナムと移民先国家との関係	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国立民族学博物館調査報告（河合洋尚・張維安編『客家族群與全球現象』）	6. 最初と最後の頁 131-149
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 Satohiro Serizawa (Tran Hong Lien dich(訳))	4. 巻 13
2. 論文標題 Nhat Ky Dien Da Ve Cac Co So Tin Nguon- Ton Giao Huyen Chau Thanh, Tinh Tra Vinh (チャビン省 チャウタン県の各信仰宗教施設についての実地調査)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nam Bo: Dat va Nguoi (南部：土地と人)	6. 最初と最後の頁 592-612
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 野上恵美	4. 巻 20
2. 論文標題 在日ベトナム人コミュニティにおける母語教室のあり方 - 在日ベトナム人2世の言語状況から見る 「葛藤」をめぐって -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ことばと社会 東京 ことばと都市の統合的理解へ	6. 最初と最後の頁 193-201
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 芹澤知広	4. 巻 17-2
2. 論文標題 ヌン族の華人の祀る神 - 中国・ベトナム・オーストラリアの実地調査から -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アジア・アフリカ地域研究	6. 最初と最後の頁 227-257
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kono Yasuyuki, Kobayashi Satoru, Krishna Bahadur, Hori Mina, Kong Sothea, Phon Sovatna, Hem Oudom, Teng Lipean and Heng Sokchea	4. 巻 Vol.11(No.1&2)
2. 論文標題 Interim survey report on livelihood transition studies in Pursat province, Cambodia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Agroforestry and Environment	6. 最初と最後の頁 21-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kobayashi Satoru	4. 巻 0
2. 論文標題 Diversity and Vulnerability: Do recent changes cause a loss of resilience of livelihoods in rural Cambodia?	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 COMPILATION OF PAPERS Presented at the Consortium for Southeast Asian Studies in Asia (SEASIA) Conference 2017	6. 最初と最後の頁 1-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 下條尚志	4. 巻 95
2. 論文標題 ベトナム カンボジア国境の越境移動をめぐるローカルな政治 冷戦終結後メコンデルタのクメール人越境者とベトナム国家	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アジア・アフリカ言語文化研究	6. 最初と最後の頁 151-180
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 芹澤知広	4. 巻 37
2. 論文標題 元宵節の比較研究へ向けて - 3つの広東人社会の事例 -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 中国文化研究	6. 最初と最後の頁 43-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 芹澤知廣	4. 巻 9
2. 論文標題 一九五零年前後越南南部華人宗教與中國本土之關係：以基督教和佛教爲中心	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Chinese Southern Diaspora Studies (南方華裔研究雜誌)	6. 最初と最後の頁 111-124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shimojo, Hisashi	4. 巻 10
2. 論文標題 Local Politics in the Migration between Vietnam and Cambodia: Mobility in a Multi-Ethnic Society in the Mekong Delta since 1975	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Southeast Asian Studies	6. 最初と最後の頁 89-118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20495/seas.10.1_89	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shimojo, Hisashi	4. 巻 16
2. 論文標題 From "Ideal Social Model" to Reality: Vietnamese Studies in Japan	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Journal of Vietnamese Studies	6. 最初と最後の頁 4-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1525/vs.2021.16.1.4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩井美佐紀・野上恵美・土屋敦子	4. 巻 11
2. 論文標題 ベトナムにおける高齢者とケア ERIA レポートを中心に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 グローバル・コミュニケーション研究	6. 最初と最後の頁 175-197
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小林知	4. 巻 1
2. 論文標題 アジアの仏教と日本の仏教	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 佐藤史郎・石坂晋哉編『現代アジアをつかむ 社会・経済・政治・文化 35のイシュー』明石書店	6. 最初と最後の頁 391-400
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計35件 (うち招待講演 2件 / うち国際学会 12件)

1. 発表者名 Satohiro Serizawa
2. 発表標題 The Gods Worshipped by the Hoa Nung, an Ethnic Chinese Group Originated on the Northern Border in Vietnam
3. 学会等名 The 11 th International Convention of Asian Scholars (ICAS11) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Satohiro Serizawa
2. 発表標題 An Exploration of Chinese Migration History through Rice Flour Cake on the Borderland between China and Vietnam
3. 学会等名 2019 International Conference on Chinese Food Culture: Cross-cultural Interaction and Chinese Foodways in Southeast Asia (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 伊藤まり子
2. 発表標題 信仰と『出世』願望 - ベトナム南部地域における宗教組織の事例から
3. 学会等名 日本文化人類学会第54回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Mariko Ito
2. 発表標題 Hybridity in the Creation of New Religious Space - A case study of Buddhist temple construction in a border area between Viet Nam and China
3. 学会等名 The 11 th International Convention of Asian Scholars (ICAS11) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小林知
2. 発表標題 カンボジア農村の生業変容に関する個別性と普遍性：東南アジア農村の将来
3. 学会等名 東南アジア学会第101回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小林知
2. 発表標題 ポーサット州村落サーベイ：家族・地域社会・生業転換
3. 学会等名 東南アジア学会第101回研究大会
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 Satoru Kobayashi
2. 発表標題 Rethinking the Composite Nature of Southeast Asian Buddhism: With the Focus on the "Unofficial" Buddhist Places of Worship in rural Cambodia
3. 学会等名 SEASIA Conference 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 下條尚志
2. 発表標題 ミクロヒストリーと「大きな歴史」の絡み合う場 - ベトナム南部メコンデルタ多民族社会における差異の認識
3. 学会等名 日本文化人類学会第53回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hisashi Shimojo
2. 発表標題 Belonging and Religion in the Multi-Ethnic Society of Vietnam 's Mekong Delta Cross-Border Migration by Khmer Theravada Buddhist Monks
3. 学会等名 科研基盤研究A「民主主義体制における少数派排除のグローバル化 アジア・アフリカの比較研究」論文報告会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hisashi Shimojo
2. 発表標題 Belonging and Religion in the Multi-Ethnic Society in Vietnam 's Mekong Delta Cross-Border Migration by Khmer Theravada Buddhist Monks
3. 学会等名 The 11 th International Convention of Asian Scholars (ICAS11) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hisashi Shimojo
2. 発表標題 Mekong Delta as a Wet Zomia
3. 学会等名 European Association for Southeast Asian Studies 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hisashi Shimojo
2. 発表標題 Belonging and Religion in the Multi-Ethnic Society of Vietnam's Mekong Delta: Cross-Border Migration by Khmer Theravada Buddhist Monks
3. 学会等名 The workshop, "Renarrating the Past: Conflict and Negotiation of Narratives along the Borders of India, Vietnam, and Japan," Center for Japanese Studies University of California, Berkeley (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hisashi Shimojo
2. 発表標題 マイクロヒストリーと「大きな歴史」の絡み合う場 - ベトナム南部メコンデルタ多民族社会における差異の認識
3. 学会等名 Bay Area Social Scienceセミナー (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hisashi Shimojo
2. 発表標題 Belonging and Religion in the Multi-Ethnic Society of Vietnam's Mekong Delta: Cross-Border Migration by Khmer Theravada Buddhist Monks
3. 学会等名 The workshop, "Ethnicity, Religion, Conflict and Violence in Postcolonial South and Southeast Asia: A Comparative, Interdisciplinary Study," Programme for Third Workshop (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 下條尚志
2. 発表標題 混淆と移動から考えるメコンデルタの『華人』
3. 学会等名 東南アジア学会関西例会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 下條尚志
2. 発表標題 混淆と移動から考えるメコンデルタの『華人』
3. 学会等名 日本ベトナム研究者会議
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野上恵美
2. 発表標題 多様な文化的背景を持つアソシエーションにおける意思決定の方法 在日ベトナム人支援を目的とするアソシエーションを事例に
3. 学会等名 日本文化人類学会第53回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野上恵美
2. 発表標題 日本で暮らすベトナム出身者と精神障害
3. 学会等名 シンポジウム「日本に暮らす外国人の定住について医療の視点から再考する」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 野上恵美
2. 発表標題 ベトナムにおける『認知症』概念をめぐる文化的・社会的背景に関する一考察
3. 学会等名 第26回多文化間精神医学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Satohiro Serizawa
2. 発表標題 The Chinese Descendants in the Rural Mekong Delta: The Cases in Tra Vinh Province, Vietnam
3. 学会等名 International Conference of Chinese Diaspora and the Contemporary Rise of China: Migration, Settlement and Transnational Networks (ISSCO 2018) (The University of Melbourne) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 芹澤知広
2. 発表標題 ヌン族の華人の宗教施設に見るベトナムとオーストラリアの関係
3. 学会等名 国際シンポジウム「客家エスニシティとグローバル現象 華僑華人の拡がりと現在」(国立民族学博物館)(国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林知
2. 発表標題 趣旨説明 東南アジアとアフリカの移行期正義とその後：和解と社会統合をめぐる比較検討
3. 学会等名 東南アジア学会第99回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林知
2. 発表標題 カンボジアにおける移行期正義の二重構造がもたらした問題
3. 学会等名 東南アジア学会第99回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林知
2. 発表標題 サンガハの研究：経済発展下のカンボジア農村における脆弱性の拡大と宗教実践の多様化
3. 学会等名 日本文化人類学会第52回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 下條尚志
2. 発表標題 統治と生存の社会史 脱植民地化以降のベトナム南部メコンデルタ多民族社会における世界観と国家
3. 学会等名 日本文化人類学会第52回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 下條尚志
2. 発表標題 ベトナム南部メコンデルタ多民族社会の民族・宗教・越境
3. 学会等名 東南アジア学会・北海道・東北地区例会シンポジウム「境界からみるアジア 宗教の中心と周縁」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小林知
2. 発表標題 カンボジア・トンレサープ湖南岸地域の農業生態環境と生業の変容
3. 学会等名 第27回日本熱帯生態学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kobayashi Satoru
2. 発表標題 Diversity and Vulnerability: Do recent changes cause a loss of resilience of rural livelihoods?
3. 学会等名 The Consortium for Southeast Asian Studies in Asia (SEASIA) Conference 2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kobayashi Satoru
2. 発表標題 Transboundary Connectivity and Rural Development: A Case Study in Cambodia-Thai Borderland
3. 学会等名 The International workshop on "Exploring Desirable paths of Agriculture and Rural Development in Asia: Changing Livelihoods, International Collaborations and Trans-disciplinary Challenges"
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shimojo, Hisashi
2. 発表標題 Local Politics in National Border-Crossing between Southern Vietnam and Cambodia: Mobility in the Mekong Delta after the Cold War
3. 学会等名 The Consortium for Southeast Asian Studies in Asia (SEASIA) 2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Shimojo, Hisashi
2. 発表標題 Migration as Survival Strategy in a Multi-Ethnic Village of the Mekong Delta since 1975
3. 学会等名 2017 Vietnam Update: The Politics of Life (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 芹澤知広
2. 発表標題 ホーチミン市とメコンデルタにおけるベトナム華人の歴史文化遺産
3. 学会等名 韓国・仁川大学中国学術院、中国・華僑文化研究所主催国際ウェビナー「新型コロナと東アジアのチャイナタウン」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 下條尚志
2. 発表標題 メコンデルタ多民族社会の混交と忌避の語りから考える身体
3. 学会等名 東南アジア学会第103回研究大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 下條尚志
2. 発表標題 国家の「余白」 メコンデルタ 生き残りの社会史(著書紹介)
3. 学会等名 日本ベトナム研究者会議2021年度研究大会
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計8件

1. 著者名 信田敏宏他	4. 発行年 2019年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 832
3. 書名 東南アジア文化事典	

1. 著者名 野上恵美（分担執筆）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 240
3. 書名 「第4章 カトリックが持つ異文化をつなぐ媒介力」高橋典史・白波瀬達也・星野壮編著『現代日本の宗教と多文化共生 移民と地域社会の関係性を探る』	

1. 著者名 吉原和男、芹澤知広、津田浩司、王雪萍、杉村美紀、瀬川昌久、曾士才、谷垣真理子、三尾裕子、山本須美子他	4. 発行年 2017年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 620
3. 書名 華僑華人の事典	

1. 著者名 志賀市子、蒲豊彦、蔡志祥、横田浩一、河合洋尚、稲澤務、黄蘊、芹澤知広、玉置充子、陳景熙、片岡樹、田仲一成	4. 発行年 2018年
2. 出版社 風響社	5. 総ページ数 424
3. 書名 潮州人 華人移民のエスニシティと文化をめぐる歴史人類学	



1. 著者名 下條尚志	4. 発行年 2021年
2. 出版社 京都大学学術出版会	5. 総ページ数 558
3. 書名 国家の「余白」 メコンデルタ 生き残りの社会史	

1. 著者名 芹澤知広・伊藤まり子・小林知・下條尚志・岡田浩樹・野上恵美	4. 発行年 2022年
2. 出版社 私家版	5. 総ページ数 173
3. 書名 ベトナム・チャヴィン省チャウタイン県調査報告（JSPS科研費「21世紀のウォーター・フロンティア：ベトナム南部メコンデルタの多民族社会」研究成果報告書）	

1. 著者名 和田理寛・小島敬裕・大坪加奈子・増原善之・下條尚志・杉本良男	4. 発行年 2021年
2. 出版社 風響社	5. 総ページ数 197
3. 書名 東南アジア上座部仏教への招待	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	小林 知  (Kobayashi Satoru)  (20452287)	京都大学・東南アジア地域研究研究所・教授   (14301)	
研究分担者	下條 尚志  (Shimojo Hisashi)  (50762267)	神戸大学・国際文化学研究所・准教授   (14501)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	伊藤 まり子  (Ito Mariko)  (70640887)	京都外国語大学・国際言語平和研究所・客員研究員    (34302)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	岡田 浩樹  (Okada Hiroki)		
研究協力者	野上 恵美  (Nogami Emi)		

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関		
ベトナム	ベトナム国家大学ホーチミン校 人文社会大学	チャヴィン大学	